

使い方

1. まず自分で考えてみましょう
2. どうしても分からないときだけ、ヒントを見ましょう
3. ヒントを見たら、もう一度自分で考えましょう
4. 答えがわかったら、「豆知識」も読んでみてね！

Q1 のヒント（太陽系で一番大きい惑星）

考え方: 太陽系の惑星を大きい順に並べると...

部分ヒント:

- 地球は太陽系で5番目に大きい惑星
- 火星は地球よりも小さい
- 答えの惑星は「縞模様（しま模様）」で有名

もっと知りたい?: 木星の「大赤斑（だいせきはん）」という台風は、地球が2〜3個入るほど大きいんだよ！

Q2 のヒント（動物のすごい能力）

考え方: イルカは哺乳類（ほにゅうい）なので、息をするために水面に出る必要があるよ。

部分ヒント:

- 海の底に沈んでしまったら、息ができなくなる
- 水面に完全に浮かんでいたら、敵に襲われるかも
- 「半分」がポイント！

もっと知りたい?: イルカだけでなく、渡り鳥も飛びながら片目を閉じて休むことができるんだよ！

Q3 のヒント（日本の行事）

考え方: 節分は「季節を分ける」という意味。春の始まりの前の日だよ。

部分ヒント:

1. まくもの → お寺や神社でもまかれる、縁起のいい食べ物
2. かけ声 → 悪いものは「外」へ、いいものは「内」へ

もっと知りたい?: 節分の日「恵方巻き（えほうまき）」を食べる習慣は、大阪から始まったと言われているよ！

Q4 のヒント（動物の鳴き声）

考え方: 英語での鳴き声は、日本語とは違う音に聞こえるよ。

部分ヒント:

- meow meow → これは猫の鳴き声（ミャオミャオ）
- moo moo → これは牛の鳴き声（モーモー）
- 犬の鳴き声は「バ」で始まる

もっと知りたい?: ニワトリの鳴き声も国によって違うよ！日本は「コケコッコー」、英語では「cock-a-doodle-doo（コッカドゥードゥルドゥー）」！

Q5 のヒント（数のパターン）

考え方: それぞれの数列がどんな規則で増えているか考えてみよう。

部分ヒント:

- パターン1: 2から始まって、2ずつ増えている → 2, 4, 6, 8, ?
- パターン2: 1から始まって、2ずつ増えている（奇数だけ） → 1, 3, 5, 7, ?
- パターン3: 1から始まって、2倍になっている → 1, 2, 4, 8, ?

もっと知りたい?: パターン3のように2倍になっていく数列は「等比数列（とうひすうれつ）」というんだよ！

Q6 のヒント（世界一の場所）

考え方: 世界地図や地図帳を思い出してみよう。

部分ヒント:

1. 世界で一番高い山 → ヒマラヤ山脈にある、「エ」で始まる
2. 世界で一番長い川 → アフリカ大陸にある
3. 世界で一番大きい国 → ヨーロッパとアジアにまたがる国

もっと知りたい?: エベレストは毎年約4ミリずつ高くなっているんだよ！インドが大陸とぶつかって押し上げているんだ！

Q7 のヒント（世界のあいさつ）

考え方: それぞれの言葉の響きから、どの国が想像してみよう。

部分ヒント:

- ニーハオ（你好） → 漢字で書かれている → どの国の言葉かな？
- ボンジュール（Bonjour） → ヨーロッパの国
- アンニョンハセヨ → 日本のお隣の国

もっと知りたい?: 「こんにちは」の言い方は世界に6000以上あると言われているよ！

Q8 のヒント（虹の色）

考え方: 虹の色は太陽の光が分かれてできるよ。外側から内側へと並んでいる。

部分ヒント:

- 一番外側は「赤」
- 一番内側は「紫」
- 「せきとうおうりよくせいらんし」という覚え方がある

もっと知りたい?: 実は虹には7色以上の色があるけど、人間の目では7色に見えるんだよ。虹の外側にもう1つ虹が見えることもあるよ（副虹といって、色の順番が逆になる！）

Q9 のヒント（日本の食文化）

考え方: おせち料理の名前には「ダジャレ」や「形のイメージ」が込められているよ。

部分ヒント:

- 1. 黒豆 → 「まめ」という言葉には「元気に」という意味がある
- 2. 数の子 → 卵がたくさんある → 何をお願いしている？
- 3. 昆布 → 「こんぶ」の音を変えると... 「よろ○○」

もっと知りたい?: 栗きんとん（黄金色）は「金運アップ」、海老は「腰が曲がるまで長生き」を願っているんだよ！

Q10 のヒント（魔方陣パズル）

考え方: たて・よこ・ななめ、すべての合計が15になるように数字を入れよう。

部分ヒント:

- 1. 真ん中の5はすでに入っている
- 2. 上の段: $2 + ? + 6 = 15$ だから、 $? = 15 - 2 - 6 = 7$
- 3. 残りの数字は 1, 3, 4, 8, 9
- 4. 各列の合計が15になるように入れていこう

もっと知りたい?: 魔方陣は約4000年前の中国で発見されたと言われているよ。昔の人も数字のパズルを楽しんでいたんだね！

Q11 のヒント（時差の不思議）

考え方: 日本の方がロンドンより時間が「進んでいる」ということは、日本が朝のとき、ロンドンは...？

部分ヒント:

- 日本とロンドンの時差は約9時間
- 日本が「進んでいる」→ 日本の方が先に朝が来る
- 日本が朝9時なら、ロンドンは9時間「前」の時間

計算: $9\text{時} - 9\text{時間} = 0\text{時}$ （真夜中）

もっと知りたい?: 地球は24時間で1回転するから、 $360\text{度} \div 24\text{時間} = 15\text{度}$ ごとに1時間の時差があるんだよ！

Q12 のヒント（星の色と温度）

考え方: 火は温度によって色が変わるよね。星も同じ原理だよ。

部分ヒント:

- ガスコンロの火は青いけど、ろうそくの火は赤っぽい
- 青い火の方が温度が高い
- 星も同じで、色で温度がわかる

もっと知りたい?: 私たちの太陽は黄色い星で、表面温度は約5500度。赤い星は約3000度、青白い星は1万度以上！

Q13 のヒント（世界遺産クイズ）

考え方: それぞれの建造物がどの国にあるか、世界地図を思い浮かべてみよう。

部分ヒント:

- 1. ピラミッドとスフィンクス → 砂漠の中にある古代の建造物 → アフリカ大陸の北にある国
- 2. 万里の長城 → 「万里」は中国の単位、敵から守るために作られた長〜い壁
- 3. 富士山 → これは簡単だね！

もっと知りたい?: 世界遺産は2024年時点で1199件もあるんだよ。日本には25件の世界遺産があるよ！

Q14 のヒント（動物のすごい旅）

考え方: キョクアジサシは北極から南極まで往復するよ。地球1周は約4万km。

部分ヒント:

- 北極から南極までは約2万km
- 往復すると約4万km
- でも、キョクアジサシはまっすぐ飛ばずに、風を使ってジグザグに飛ぶ

もっと知りたい?: キョクアジサシは一生（約30年）で地球と月を3往復するほどの距離を飛ぶんだ！（約120万km！）

Q15 のヒント（フィボナッチ数列）

考え方: この数列には面白い規則があるよ。前の2つの数を見てみよう。

部分ヒント:

- $1 + 1 = 2$
- $1 + 2 = 3$
- $2 + 3 = 5$
- $3 + 5 = 8$
- $5 + 8 = 13$
- $8 + 13 = 21$
- $13 + 21 = ?$
- $21 + ? = ??$

もっと知りたい?: ひまわりの種は、時計回りに21列、反時計回りに34列並んでいることが多いよ。これはまさにフィボナッチ数列！松ぼっくりも8列と13列になっているんだ！

一般的なアドバイス

- 科学問題: 「なぜ？」を考えると、自然のしくみが見えてくるよ
- 文化問題: 日本と外国の違いを楽しもう
- 算数問題: パターンを見つけるのがコツ！
- 地理問題: 地図を思い浮かべながら考えてみよう

もっと学びたい人へ

今日のテストで興味を持った分野があったら、図書館や博物館に行ってみよう！

インターネットで調べるときは、大人の人と一緒にね。

世界にはまだまだふしぎなことがいっぱい。

学ぶことは、新しい発見への冒険だよ！